

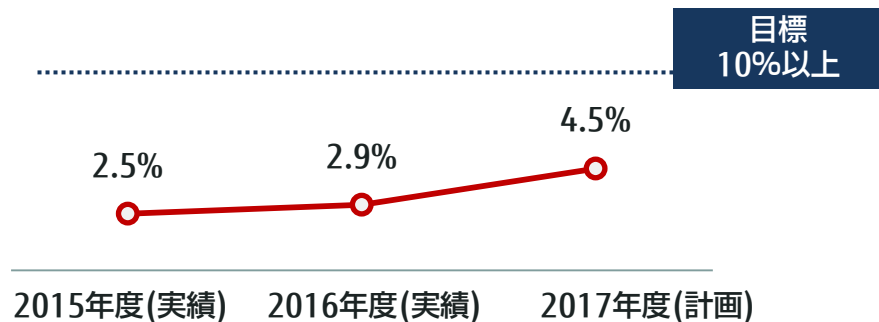
経営方針

2017年度 進捗レビュー

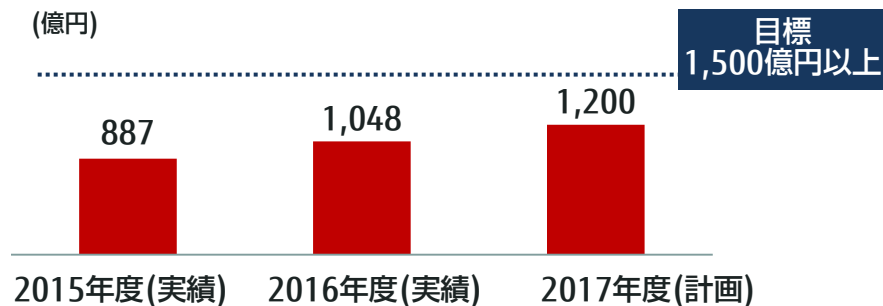
2017年 6月 6日
富士通株式会社

2015・2016年度 実績 / 2017年度 計画

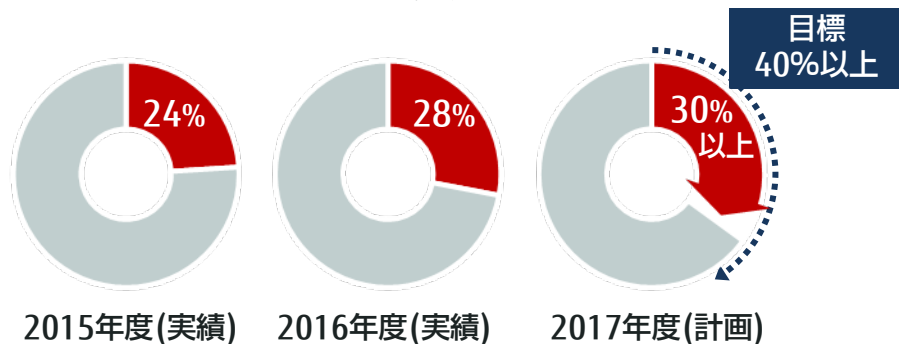
連結営業利益率



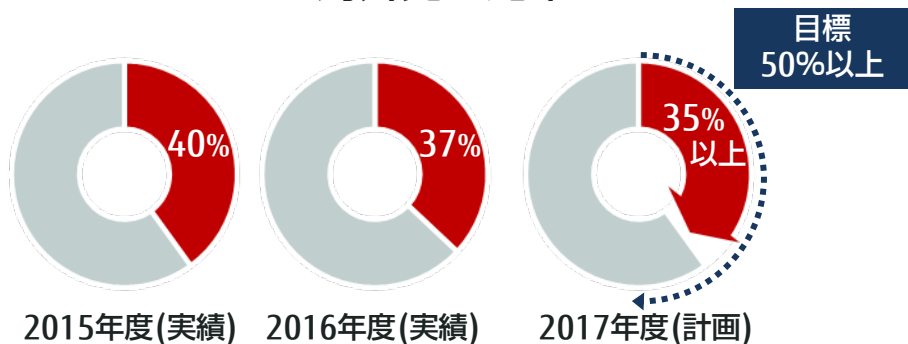
フリーキャッシュフロー



自己資本比率



海外売上比率

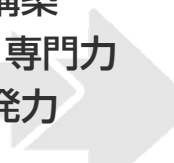


基本方針（確認）

今後の強化ポイント

コア事業

テクノロジーソリューション事業をグローバル成長させるため、「つながるサービス」へ投資を集中

- ・ グローバルエコシステムの構築
 - ・ ナレッジインテグレーション+専門力
 - ・ キーテクノロジーの研究開発力
- 

グローバルフロント

各リージョン事業・サポート力を強化し、事業部門との連携により、デジタル時代をリードするサービスを展開

- ・ 均一なサービスと品質
 - ・ ビジネスモデル創出力
 - ・ グローバルビジネス人材
- 

独立事業

ユビキタス・デバイス事業は独立事業として分社し、あらゆる選択肢を視野に事業競争力を強化

- ・ 独立事業体として市場競争力の向上
 - ・ コア事業とのシナジー
 - ・ 有力企業との協業推進
- 

「つながるサービス」にむけたエコシステム



専門力によるインテグレーションの革新

インテグレーションの進化によるお客様価値増幅のスパイラル



運用環境にこだわらない、シームレスなお客様ビジネス基盤の実現

お客様の期待



デジタル革新の
スピード

膨大データの
利活用

柔軟で堅牢な
運用環境



富士通 MetaArc

マルチクラウド
インテグレーション

富士通クラウド

OpenStack

VMware

Oracle

SAP

Solaris, Box

⋮

他社クラウド

Microsoft, Amazon ...

プライベートクラウド

トータルな運用サービス



オープン
ソフトウェア
パートナー

グローバル
クラウド
パートナー

お客様の事業創出・安心安全を実現

お客様の期待



知見の実装
自動化

新ビジネス
創出

想定外を想定
自然災害、
パンデミック、テロ…



富士通 Human Centric AI Zinrai

インテグ
レーション

業種
ナレッジ

プラット
フォーム

AI基盤技術

機械学習

Deep Learning

専用プロセッサ

スパコン技術

⋮



グローバル
パートナー

研究機関

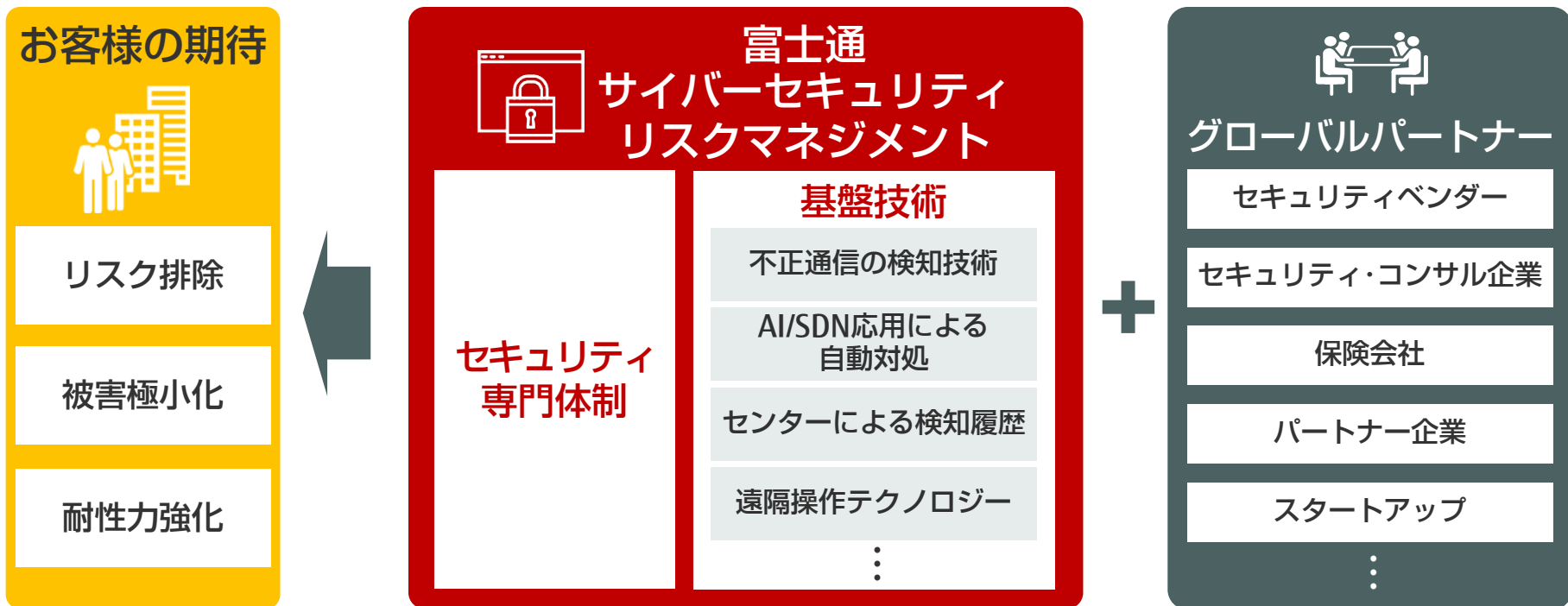
大学

パートナー企業

スタートアップ

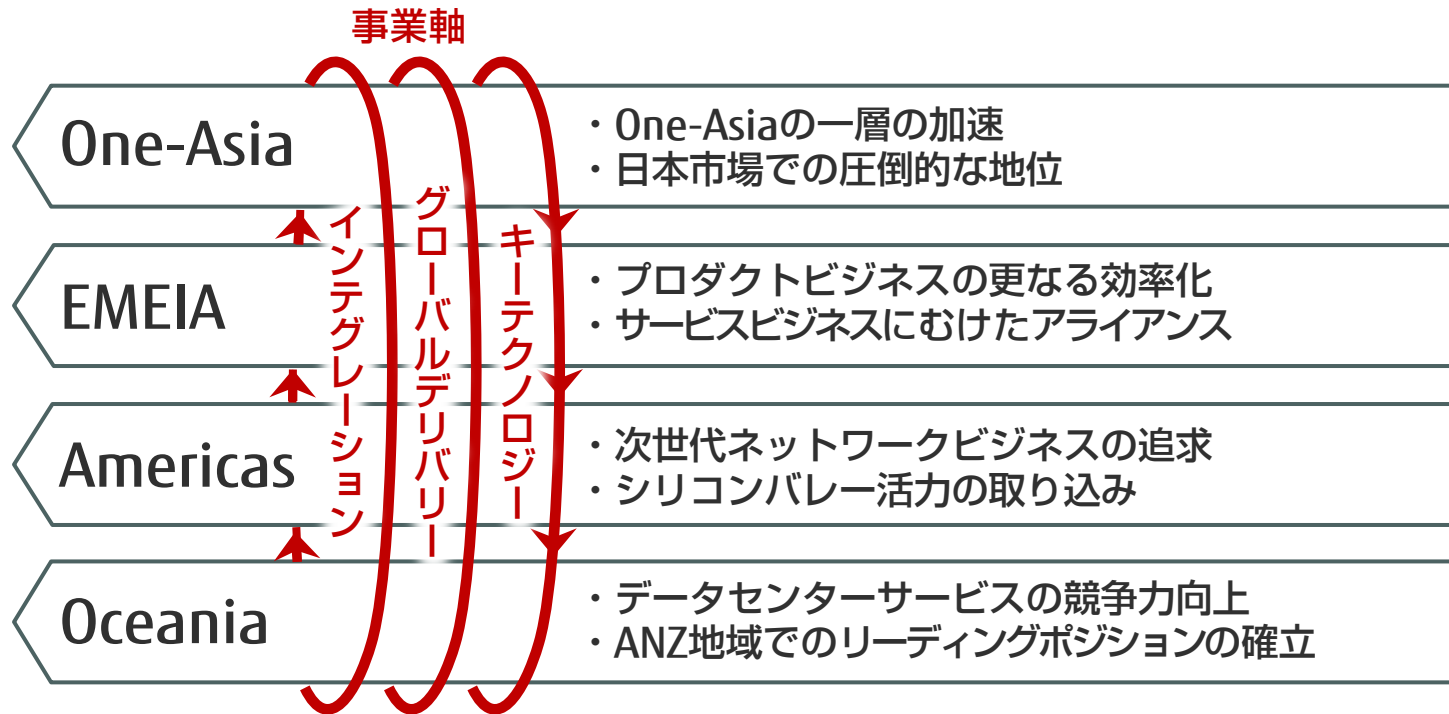
⋮

お客様の事業継続を支え、リスク管理の負担を大幅に軽減

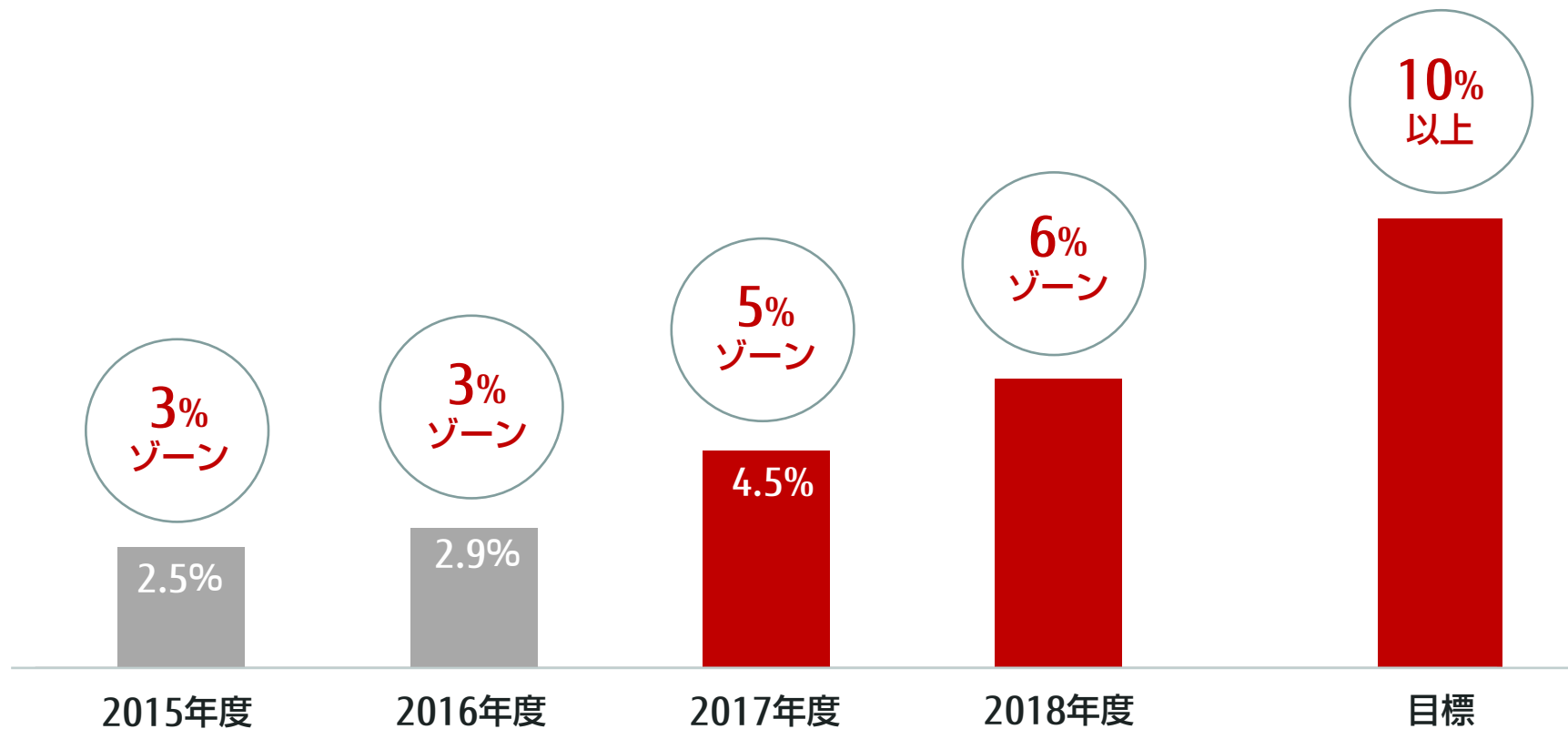


グローバル成長の基盤

事業軸による成長施策と並行し、各リージョン毎のテーマに取り組む



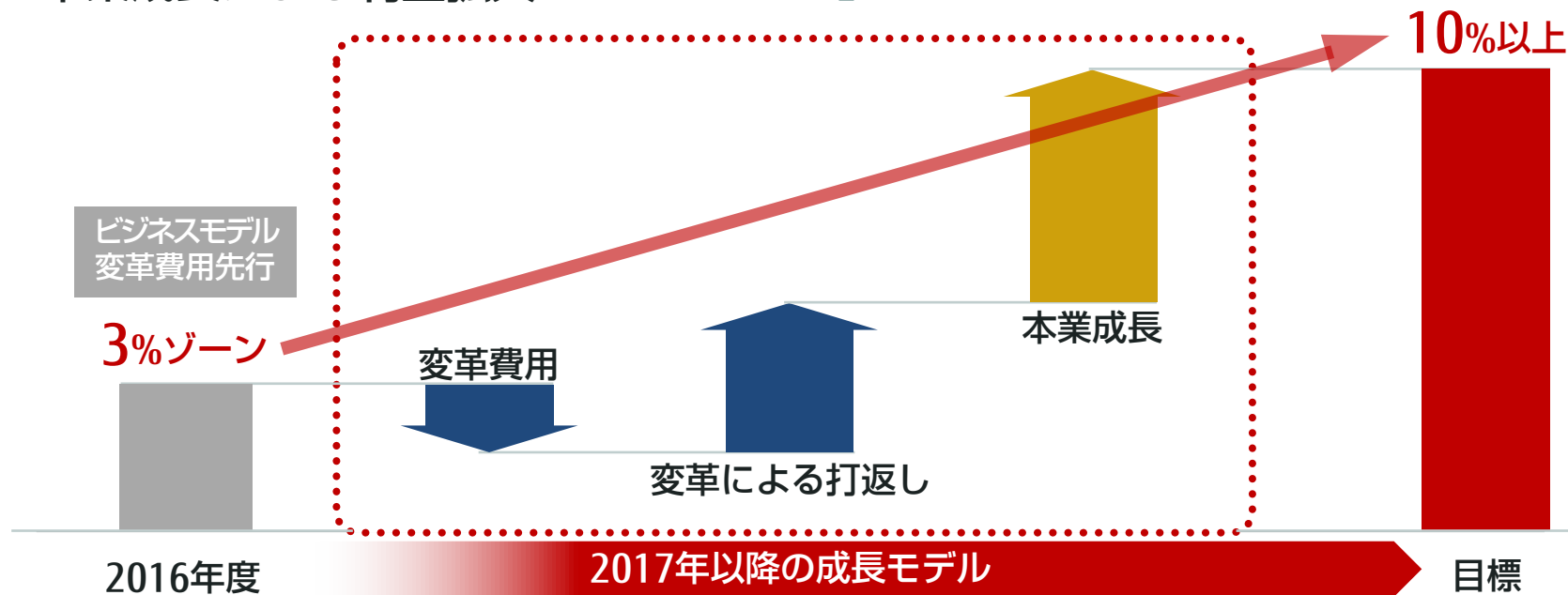
連結営業利益



連結営業利益

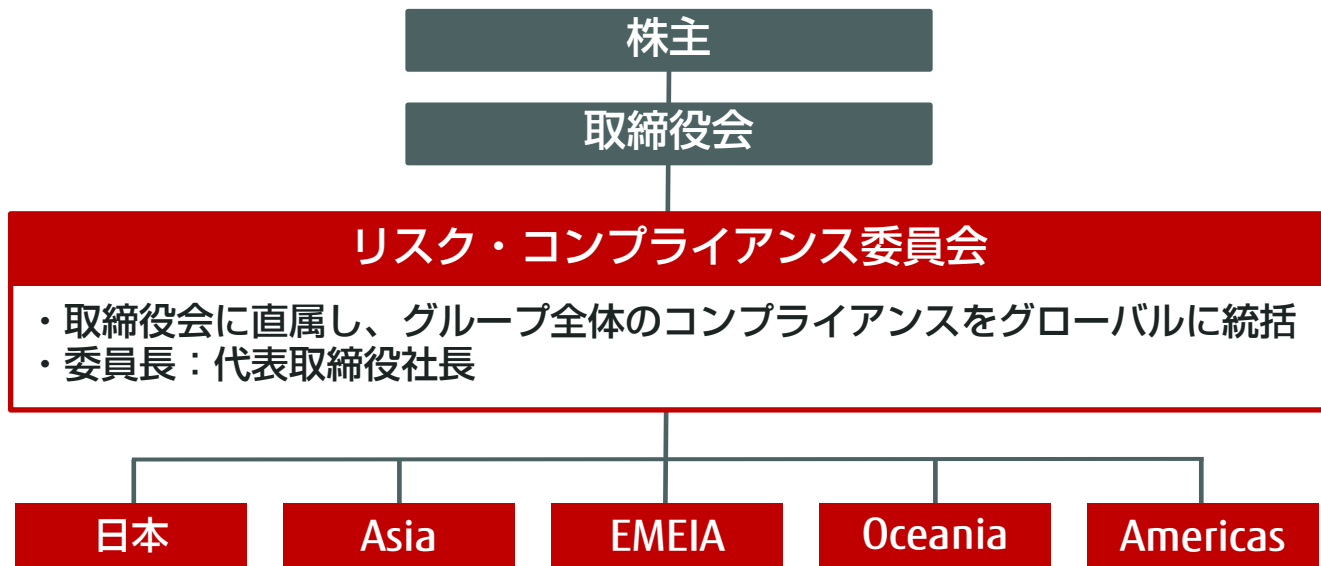
- ビジネスモデル変革の継続
- 変革費用を上回る打ち返し
- 成長分野「つながるサービス」へ投資集中
- 本業成長による利益拡大

利益持上げによる利益率10%以上へ
収益力向上に伴う株主還元の継続



コンプライアンスの徹底

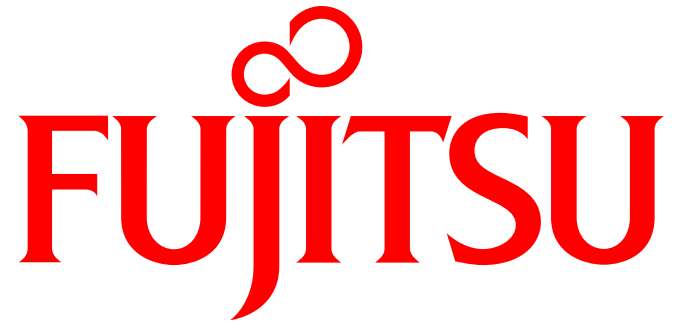
- 電力会社様との取引にかかる一連の独禁法違反に対する猛省
- 社長トップダウン、徹底した従業員教育による再発防止活動
- 取締役会による継続的な活動の監督



富士通フォーラム2017東京

FUJITSU





shaping tomorrow with you

免責事項

このプレゼンテーション資料、及びミーティングで配布されたその他の資料や情報、及び質疑応答で話した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により実際の結果・業績または事象と異なることがあります。

実際の結果・業績または事象に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

（但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません）

- 富士通の提供するサービスまたは製品にとって主要な地域（日本、EMEIA、アメリカ、アジア、オセアニアなど）のマクロ経済環境や市況動向。中でも当社顧客の I T 支出に影響を及ぼすような経済環境要因。
- 急速な技術変革や顧客需要の変動。及び富士通が参入している I T 市場、通信市場、電子デバイス市場での激しい価格競争。
- 他社との戦略的提携や、合理的条件下での他社との取引を通じて、富士通が特定のビジネスから撤退し、関連資産を処分する可能性。およびこのような撤退・処分から発生する損失の影響。
- 特定の知的財産権の利用に関する不確実性。特定の知的財産権の防御に関する不確実性。
- 富士通の戦略的提携企業の業績に関する不確実性。
- 富士通の保有する国内外企業の株式の価格下落が、損益計算書や財政状態計算書などの財務諸表に与える影響。およびこの保有株式の株価下落により発生した富士通の年金資産の評価減とこれを補うために追加拠出される費用の発生による影響。
- 顧客企業の業績不振、資金ショート、支払不能、倒産などに起因する売掛債権の回収遅延や回収不能によって、当社が被る損害の影響。
- 富士通が売上収益及び利益を計上している主な国の通貨と日本円との為替レートの変動、および富士通が資産や負債を計上している主な国の通貨と日本円との為替レートの変動により発生する影響（特に、日本円と、ユーロ、英ポンド、米ドルとの間の為替差損益の影響）。